



JA あそだより



押戸ノ石(南小国)

■主な内容

- 南部野菜センター落成
- 第2次営農コンサル事業開校
- JA阿蘇青壮年部・女性部総会
- JA阿蘇LA紹介

 阿蘇農業協同組合

本所 〒869-2612 熊本県阿蘇市一の宮町宮地387-5
TEL 0967-22-6111/FAX 0967-23-1088



南部集出荷貯蔵施設

「南部野菜センター」完成

6月下旬から本格的稼動



完成した「南部野菜センター」



落成式で挨拶を行う
丸山組合長

南部農業センター管内の特産物であるトマトなどの選果および集出荷施設となる「南部野菜センター」（南部集出荷貯蔵施設／電話0907-62-9976）の落成式が4月25日、南阿蘇村一関の建設地（白水ライスセンター横）で行われました。

式には生産者をはじめ行政・市場・JA・工事関係者など200人が出席しました。神事の

機械始動ボタンを押し完成を祝いました。施設は鉄骨造り2階建て、建築面積3528m²、総事業費約4億600万円となっています。

同施設は南部地区重点品目であるトマト、ミニトマト、イチゴの集荷施設として、それまで2カ所にあつた選果場を1カ所に集約することで、より効率的な集荷態勢を構築するとともに、最新鋭のカラーセンサー付きのシステム導入により高度な選果・規格の均一化による高品質な生

後、丸山信義組合長が挨拶し機

荷が始まる6月下旬の予定です。
センターの本格的な稼動は出
画は2380t、販売高6億6
500万円と見込んでいます。



センターに導入された最新のシステム



落成式に出席した生産者の方々

南小国町西南部の外輪山に連なる標高845mの丘陵頂上に、大小の石群があります。「押戸ノ石石群」と呼ばれ、最大のものは高さ5.5m、周囲15.3mの巨岩でピラミッド型をしています。伝説では鬼たちが夜な夜ないしなご（お手玉）をして遊んだ石とも言われています。人為的とも思われる石の配置から太古の遺跡ではないかと推測され、巨岩には約4000年前のシュメール文字「ペトログラフ」（岩刻文字）が刻まれています。押戸ノ石へは西部農免道（案内板あり）から歩いて30～40分。近くにはマゼノ渓谷があります。



「押戸ノ石石群」とのいし
石群

表紙写真説明

営農指導員のさらなるパワーアップを! 第二次営農コンサル事業開校

営農指導員の育成強化及び耕畜連携資源循環型環境保全農業の実践を目的とした、第二次営農コンサル事業開校式が5月17日、一の宮中央支所で行われました。同事業は本年度で2年目を迎え、式には35名が参加をしました。同事業は本年度で2年目を迎え、式には35名が参加をしました。

先ず中尾雄二副組合長が「農協事業の重要な事業である営農指導部門の強化のために、農協としても全力をあげ支援をするのでしつかり勉強して頂きたい」と挨拶を行い、来賓挨拶後、3つの営農センターからそれぞれ指導方針発表が行われました。南部営農センターは「農業所得向上に向け、専任指導員と営

農指導員の連携強化による指導の徹底と、堆肥等供給による生産コストの削減」

中部営農センターは「営農指導員の意識改善に向けた取り組み、農業所得向上における阻害要因の解説と分析」

小国郷営農センターは「大根、ほうれん草、きゅうりの重点品目を中心に基本は集団指導を実施し、防除履歴日誌の活用、糖度計を活用したおいしい農産物の生産」などと、それぞれの営農センターの指導方針を打ち出しました。

その後、営農コンサルタントの武田健氏よりコンサルの基本方針、具体的戦略について助言が行われました。



営農コンサルで武田氏の助言を真剣に聞く指導員

営農部の石松事業課長は「一年間のコンサル事業を通じて得た知識に、更なる勉強をして農家の役に立つ指導員に育つて頂きたい」と述べ、2年目の取り組みに向けた指導強化への意欲を語っていました。

また、参加した指導員は「以

J A 阿蘇青壮年部通常総会 新年度事業計画などを承認し新役員を選出

会長に今村孝典氏
副会長に市原・河津の両氏

平成16年度通常総会が4月14日、サンクラウン大阿蘇で開かれました。JA青年組織綱領唱和後、島津治彦会長の挨拶や来賓祝辞などが行われ、議事に入りました。

議事では第1号議案「平成16年度事業報告並びに収支決算書承認について（監査報告）」、第2号議案「平成17年度事業計画（※別記参照）並びに収支予算書（案）の承認について」、第3号議案「平成17年度会費並びに徴収方法について」、第4号

前は巡回指導をしても経験不足から自信がなかつたが、一年間コンサル事業を受講して土作りの重要性、定植から収穫までの総合的な指導アドバイスの必要性を感じた」と、第二次営農コンサル事業への意気込みを話していました。

J A 阿蘇青壮年部

平成17年度事業計画

I 情勢

わが国の経済は一部の企業で景気回復の傾向が見受けられるものの、依然として停滞傾向にある。また農業・農村を取り巻く情勢については、農畜産物価格低迷等による農業所得の減少、農畜産物輸入の急増、農業労働力の減少・高齢化の進展・耕作放棄地の増加など、農業基盤の脆弱化が進んできている。

またBSE検査の見直し等、消費者における食品の安全性への関心と不安がこれまで以上に高まっている。さらに、今年3月に策定された「新たな食料・農業・農村基本計画」の見直しの中で、「経営所得安定対策」の仕組みや対象に、我々の意見・要望をいかに反映できるかが課題である。加えてWTO農業交渉においては、昨年7月に交渉の枠組み合意は行われたものの、米や乳製品等の重要品目については今後の交渉に委ねられており、今年の12月に予定されている香港開港会議に向け、公平で公正な新たな貿易ルールの確立をめざす広範な運動が必要である。また韓国・タイ等東南アジア諸国との間で交渉が進められているEPA（経済連携協定）については、国内の主要農畜産物を「例外品目」とする運動の展開が必要である。

では、平成15年12月に第21回JA熊本県大会を開催し、信頼・改革・貢献を基本姿勢とし、地域農業振興の推進や経済事業改革を基本としたJA改革の実行などに取り組んでいるところである。JA阿蘇青壮年部としても、JA大会決議事項の実践と現場の意見反映を図るために、積極的にJA運営に参画していく必要がある。

II 基本方針

青壮年部組織を取り巻く情勢は、新規卒就農者の低迷や青年農業者の減少などにより、地域農業を担う盟友も年々減少傾向にあり、平成17年4月現在のJA阿蘇青壮年部の組織数は7組織、登録盟友数は421名となっている。そこで組織基盤の拡充を図るため「JA青壮年部中期計画」を推進し、組織の活性化に取り組む。具体的取り組みとして、次記の事項に積極的に取り組む。

I JA青壮年部組織の活性化に向けた取り組み

青壮年部組織の今後10年先を見据えた対応方向を検討するため「JA青壮年部研究会（仮称）」を県中央会と共に設置し、「JA青壮年部中期計画」を策定し推進する。

(1) 新規部員の加入促進

年々、農業就業者数が減少している中、阿蘇郡盟友数も減少傾向にあり、青壮年部活動の活性化を図るために、専門部会

を設置し新規盟友の加入促進に向けた取り組みを実施する。

(2) JA青壮年部台帳の整備促進

青壮年部盟友の正組合員資格の有無をはじめ、JA運営参画の実態を把握するため、各組織で「JA青壮年部台帳」の整備を進め、青壮年部組織における現状分析と課題の明確を行い、中期目標数値の策定など運営参画を促進する。

(3) 事務局機能の強化

JAにおける担い手担当部署が青壮年部事務局との連携を図り、盟友の意向をJA運動に反映させるために事務局機能の強化を図る。

2 JA経営への参画とJA改革の実践

地域農業・JA運動の中核的担い手層のニーズに応えるJAづくりに向け、JA運営への参画を推進する。

(1) JA運営への参画

青壮年部員の参画促進

JA運営の中核的な担い手層のニーズに応えるJAづくりに向け、盟友の正組合員加入、時代全体の10%の就任および全JAでの組織理事の就任を推進する。

(2) 経済事業改革の実践

経済事業改革の実践のため、経済連やJA等との意見交換を実施し着実に実践されるよう取り組みを行う。

3 農業振興に向けた取り組み

農畜産物価格の下落や輸入農畜産物の増加、さらには農業担い手の減少・高齢化の進展の中、中核的担い手として地域農業振興に大きな役割を担うJA青壮年部は積極的な政策提言活動を行うために、専門部会の活動を設置しJA・連合会・関係機関等と積極的に意見交換等を行う。

(1) 専門部会の拡充・強化

青壮年部活動の促進を図るために一環として、盟友相互の意見・情報交換会、各種大会及び政策提言等を効率的に行うために、郡段階の専門部会の拡充・強化を図る。



平成16年度通常総会の様子

=女性部通常総会開催=

J Aへの女性参画と一層の「食育」「地産地消」の推進



平成16年度J A阿蘇女性部通常総会が4月27日、関係者約70人が出席して阿蘇市のホテルで開かれました。J A女性組織綱領唱和後、田中弘子会長が「昨年度はたび重なる台風で農作物等に大きな被害を受けましたが、思いやりの精神と各方面からの励まし、そして女性の持ち前のパワーとやさしさで乗り切ることができました。活動も青壯年部とのスポーツ交流会、家庭野菜園コンクール、女性フーラム、ふれあいの旅など多彩な事業を行うことができ、会員相互のふれあいが大きく前進しました」と挨拶。

続いて来賓の丸山信義組合長の祝辞が述べられた後、退任される役員の謝辞があり田中会長よりそれぞれに感謝状贈呈が行われました。

議事では、第1号議案「平成16年度事業報告並びに収支決算書の承認について」、監査報告、第2号議案「平成17年度事業計画並びに収支予算（案）の承認について」、第3号議案「平成17年度会費の負担並びに収納（案）について」、第4号議案「役員選任（案）について」、第5号議案「J A阿蘇女性部規約改正（案）について」が審議され、原案通り承認されました。

◇新役員（敬称略）

部長＝田中弘子（阿蘇町・黒川）、副部長＝坂田文代（小国郷）、山戸三代子（白水）、監事＝菅美佐子（一の宮・波野）、清水絹子（蘇陽）、委員＝住吉りえ子（高森・野尻）、小林イツオ（久木野）、宮崎ヒサ子（長陽）、吉川由美（西原）、参与＝江入衣美（ラレッジュミズ）

閉会後は家の光講師の萬野保子さんによる講演「ふれあいタイム」や交流会が行われました。萬野さんは音楽に合わせて体を動かす（踊る）ことはストレス解消や疲労回復にもプラスになる。各支部でもぜひ試してほしい語り、参加者全員がダンスを試みました。

尚、新役員は支部統合により前年度より3人減となり、また規約改正により条文の一部が次のように変更されました。

「会長」→「部長」、「副会長」

「副部長」、「会員」→「部員」、「会費」→「部費」、「郡内」→「管内」

新役員（平成17～18年）の

皆さん、及び今年度の事業計画基本方針は次の通りです。

今年度事業計画基本方針（要旨）

本年度からは県女性協議会3年計画の新たなスタートの年でもあります。これを機に女性組織の活性化対策とJ A運営への女性参画を課題として取り組み、実践を伴った共同購入の強化、ふれあいをモットーにフォーラムの開催、ふれあいの旅の継続、学習活動の強化を促進します。

尚、「食育」や「地産地消」については女性部でこれからも積極的に取り組んでいかなければなりません。私たちは自給率を引き上げるためにも、食生活指針の学習並びに日本型食生活の実践を更に進めが必要があります。また、「フレッシュユース」の養成も必要と考えています。地域の問題もありますが、女性部減少の歴史になればと思っています。このような中で、私たちJ A阿蘇女性部としてふさわしい活動を求めていきたいと思います。



参加者全員が音楽に合わせてダンス

夏秋トマト出荷数量2380tを計画

南部トマト部会出荷査定会



平成17年度「JA阿蘇南部トマト部会出荷査定会」が6月7日、今4月に落成した南部野菜センター（南阿蘇村大字一関＝旧白水村）で部員（生産者）をはじめ行政・市場関係・JA職員など約180人が参加して開かれました。

先ず、河内健雄部会長が主催者挨拶を行い、「今後とも部会と続けてまとまりのある生産活動及び出荷に取り組んでいこう」と訴え、中尾雄二JA阿蘇副組合長らが来賓祝辞を述べました。続いて南部営農センター担当者より支所別・旬別ごとの今年度生産・出荷計画や査定の基準などについて説明が行われました。

尚、今季の夏秋トマト出荷数量（南部野菜センター選果）として2380tが見込まれています。



一方、当日は地域の特産物を利用した料理の披露も行われ、橋原清子さんの作ったトマト料理5品の写真撮影や調理方法の取材などが行われました。トマト料理5品を試食した取材班は、「1つの素材が、ひとつひとつ工夫された料理になっている。やはり採りたての素材を使った料理は最高です」と感激し、笑顔で試食をしていました。その後、橋原さんのハウスでトマトを背景に写真撮影を行い、「トマトが食べたくなったら、またきて下さい」という橋原さんの言葉に、取材班一同大感激の様子でした。

取材を受け入れて下さった今村さんご夫妻、橋原さんご協力ありがとうございました。



取材を受ける橋原さん



トマトハウスを案内する橋原さん



「くまもとあぐりんネット」に 南阿蘇村の今村さん「アスパラ」と柄原さんの「トマト料理」を紹介



今村さん夫妻

熊日新聞6月掲載のJAグループ熊本特集「くまもとあぐりんネット」の取材が5月18日、南阿蘇村の今村孝典さんと柄原清子さんの自宅や畑で行われました。



柄原さん

今村さん、今年度あぐりん特派員にも



読者リポーターの齊藤さん一家と
今村さん夫妻

今村さんは奥さんの輝代さんと両親で水稻320a、繁殖牛6頭、ブルーベリーなどを栽培、昨年からはアスパラガス11aの栽培もしています。

今村さんは記者の質問に「アスパラガスの栽培は1年目でまだ試行錯誤、手探り状態の毎日です。今はいろんな人の話や本などを参考に栽培技術を研究しています。特に有機肥料や灌水のタイミングなど日々勉強しています。農薬も使用が規制されているので、独自の方法で虫が寄りつかないように工夫しています」と応じていました。記者から“何が一番おもしろいですか”と質問されると「アスパラは収穫時期が長いこと」と答え、“苦労することは…?”との問いには、「何も分からぬこと一番大変」と苦笑いしていました。

当日は、熊日新聞読者リポーターとして熊本市の齊藤さん一家が今村さんの指導でアスパラの収穫作業を体験。「アスパラがこんなに大変な作業をして収穫されているなんてびっくり」と感想をもらしながらも、楽しそうに収穫していました。また「アスパラのおいしい食べ方は」との質問に、

輝代さんが「焼肉のとき、一緒に焼いて食べるのが一番です」と話していました。

現在、今村さんは水稻で省力・省エネのため“半不耕起栽培”にも取り組んでいます。普通、田植えの準備として耕起・荒代・植え代・田植えとなります。今村さんはこの過程をとばして、昨年刈り取った田んぼに直接水を入れ、いきなり代かき・田植えをする栽培方法を行っています。この方法で田植えをしても収穫量は同じで、経費は1反当たり2万円程度削減できるそうです。

今村さんは「いいと思ったら実行」と、いろんなことにチャレンジし、今後アスパラガス栽培面積を35aまで広げることが目標だそうです。

なお、今村さんは今年度のJA阿蘇からの「あぐりんネット特派員」としても選ばれ、インターネット「くまもとあぐりんネット」に月1度のペースで特派員報告が掲載されます。ぜひご覧下さい。アドレスは<http://agrin.kumanichi.com/>です。



収穫作業体験をする
齊藤さん一家

アドバイザー

この街の L A です。

実した むてき

なたを守る



地震

津波

ご相談ください!!



金融共済部
普及保全課長 穴井堅



L A 総括 野尻英夫

西原中央支所

蘇陽中央支所



川元昭子



高木志保



藤屋ヒロ子

高森中央支所

白水中央支所



栗焼三千生



緒方信雄



加藤清季

久木野中央支所

長陽中央支所



渡邊美穂



宮崎時男



市原恵一

小国郷中央支所



河津義明



河津英幸



河津篤



秋吉芳郎



佐藤光紀



金融共済部長 園田松三

一の宮中央支所



室富美幸



村上ひろみ



甲斐喜代美



岩下宗之助



山本孝子

産山支所

波野支所



井幸美



首藤太

阿蘇町中央支所

尾ヶ石支所



田上修二



成瀬誠一郎



松村幸市

永水支所

阿蘇町東部支所

黒川支所



松本克也



小橋みゆき



北里龍治



吉田茂成



西岡徳和

J A 阿蘇ライフ

お役に立ちます、あなた

台風等の保障が更に充実

総合保障があ

火災



台風



私たちに

子どもたちが田植えなど農業体験に歓声！

グリーンコープくまもと（生活協同組合）の会員約240人による田植えが、今年も5月21日、阿蘇市山田地区の水田で行われました。

この「レツツゴーたんぼ」はJA阿蘇「阿蘇町良質米部会」が毎年受け入れて行っているもので、水田の約100mの畦に参加者全員が一列に並び、JA職員の掛け声に合わせて一齊に田植えをしました。また、小国郷でも5月28日、同様の田植えが行されました。



*「レツツゴーたんぼ

西原村の河原小学校では子どもたちがトウモロコシの種を植えました。（※転載した学校の広報誌部分をご覧ください）



トウモロコシも
植えました!!

やっと残りのマルチの畝にトウモロコシの種を植えました。2年生が1年生のために種を植えるための穴を開けてくれまして、みんなで240粒ほどの種を植えました。まだまだ穴が開いていまして、また追加の種を購入して植えたいと思います。

南阿蘇村の中松小学校では全児童79人が田んぼでゲームなどを楽しむ「中松小ドロリンピック」が5月16日開かれました。生産者から借りている学校近くの水田では、宝探しや泥んこリレーなどが行われ、子どもたちは全身泥だらけになりながら歓声を上げていました。そして19日には同じ水田で田植えをしました。



「中松小ドロリンピック

早く大きくなれトウモロコシ

フクユタカの愛称

『阿蘇めぐみゆたか』と決まる

阿蘇地方で栽培されている大豆の主力品種「フクユタカ」の愛称が『阿蘇めぐみゆたか』と決まりました。これは阿蘇の大豆の消費拡大とイメージアップを図るキャンペーンの一環として、JA阿蘇営農部などが主催したものです。

現在、阿蘇地方は大豆の栽培面積が600ha

を超える県内有数の大産地となっており、フクユタカ（阿蘇めぐみゆたか）は高蛋白で固まりやすく、豆腐の原料に適していると言われています。キャンペーン期間中、協賛の阿蘇市の豆腐店や飲食店、旅館などでは阿蘇産大豆を使った料理などが提供されました。



丸山組合長ら関係者が出席して行われた愛称の審査風景

「自分の長所は積極的なところです。そして、人一倍明るい性格のA型かな」と、ハキハキした感じの林田真季さん。特技はスポーツでバレー・ボール。今春JA阿蘇に入り、現在白水中央支所で窓口業務を担当しています。

真季さんがJAに就職できたことを一番喜んでくれたのは、尊敬している祖母のツエ子さんです。ツエ子さんはあちこちの知人に「真季がJAの窓口になります」と頼んで回ってくれたそうです。

真季さんは高校時代にボラン

ティア部に所属し、仲間たちと一緒に幼稚園や老人ホームを訪問しお年寄りの話し相手や、洗濯などを手伝いました。今は実家がトマトを栽培しているため、休日は家で手伝いをしていることが多いそうです。

「JAに就職して3カ月以上が過ぎ、仕事の内容もだんだん覚えてきたので、これからもミスがないように心がけて頑張つていきたいです」

そして、理想の男性は…との問いに「仕事に真剣に取り組んで、向上心を感じられる人」と答えました。

J A 阿蘇きらり

「理想の男性は…、
向上心が感じられる人」

白水中央支所金融共済係

林田 真季さん

昭和61年7月生まれ

住所=南阿蘇村



「ローン相談会」開催のお知らせ

- マイカーローン
- 教育ローン
- カードローン
- クローバーローン
- 住宅ローン

お気軽にご相談にお越しください。

開催日

7月2日(土)
午前9時～午後4時

開催場所

《中部》一の宮中央支所《南部》白水中央支所
《北部》小国郷中央支所



一の宮車輛センタースタッフの皆さん



J A 阿蘇の各施設や各支所の事業内容や話題を紹介する「JA支所訪問」。今回は阿蘇市の二の宮車輛センターです。

センター長 石田 孝臣
テ 869-2612
阿蘇市一の宮町富地1816
TEL 0967(22)1598
FAX 0967(22)0589

■さらなる技術向上と車検1000台が目標

一の宮・波野・産山となつてますが、大型車輛も天候に左右されず点検や整備がきる新工場の建設により、作業効率のアップとユーザーへのサービス向上が図られた結果、近年では組合員以外のユーザーに加え一の宮

施設は旧宮地支所を改装した事務所のほか大型車輛の整備ができる工場3棟があります。スタッフは石田センター長を含め8人で、全メーカーの車種を取り扱い販売をする「自動車センター」(スタッフ2人)も併設されています。

「JA支所訪問」(第17回)

J A 阿蘇の各施設や各支所の事業内容や話題を紹介する「JA支所訪問」。今回は阿蘇市の二の宮車輛センターです。

石田センター長は今後の抱負を「さらなる技術向上と車検受注1000台を目標に、自動車センターとも協力して頑張っていきたい」と語っていました。



車検や点検整備はおまかせください!

JA

平成17年6月1日(水) ▶ 7月29日(金)

JAマイカーローン

JJAのマイカーローンでもっともっと家族の時間



もっどJA すうどJA

JA 阿蘇

理事会・監事会報告

平成17年4月から5月に「理事会」および「監事会」が下記の通り開催されましたので、その内容を掲載いたします。

■ 平成17年度第1回理事会

日時 平成17年4月21日午後1時30分
場所 一の宮中央支所会議室

1. 開会
2. 組合長挨拶
3. 協議事項

- 1) 平成16年度家畜欄卸監査回答書（案）について
- 2) 平成16年度資産査定監事監査回答書（案）について
- 3) 役員推薦手続きについて
- 4) 区域全域の役員推薦委員の選出について
- 5) 役員候補者推薦内規（案）について
- 6) 総代選挙手続きについて
- 7) 貸付金について
- 8) 信用取扱手数料改定について
- 9) 県下統一JA住宅ローン「あんしん計画」の取り扱いについて
- 10) 資金別貸付要領の創設について
- 11) 一の宮中央支所・産山支所・波野支所組織整備再編について
- 12) 南部地区組織整備再編（案）について
- 13) 農林中央金庫に対する増資計画（案）について
- 14) 平成17年度職員中途採用及び平成18年度職員採用〇計画について
- 15) 平成17年度余裕金運用について
- 16) 信用供与等の限度額について
- 17) 貸付金利率の最高限度及び借入金の最高限度について
- 18) 偽造キャッシュカード犯罪緊急対応方針について
- 19) その他

報告事項 南部営農センター、白水中央支所への移転について

報告事項 用途変更に伴う国庫補助金の返還について

報告事項 内部監査実施状況について

報告事項 平成17年度理事会日程について

報告事項 全国監査機構決算監査実施日程について

報告事項 平成16年度決算監事監査日程について

報告事項 平成17年5月・6月行事予定表について

■ 平成17年度第2回理事会

日時 平成17年4月28日午後1時30分
場所 一の宮中央支所会議室

1. 開会
2. 組合長挨拶
3. 協議事項

- 1) 平成16年度決算について
- 2) 平成17年度事業計画及び関連事項について
- 3) 平成17年度固定資産取得計画について
- 4) 第4回通常総代会提出議案について
- 5) 平成16年度各部門表彰者について
- 6) 定款、定款附属書役員選任規程及び定款附属書総代選挙規程の一部変更について
- 7) 信用事業規程及び農地保有合理化事業規程の一部変更について
- 8) 役員推薦会議運営規程の一部変更について
- 9) 役員報酬支給規程及び委員報酬支給要領の改正について
- 10) 区域全域の役員推薦選考委員の選出について
- 11) 区域全域の役員推薦委員の選出について
- 12) 総代選挙に伴う選挙管理者等の承認について
- 13) 貸付金について
- 14) 畜産近代化リース事業について
- 15) その他

報告事項 職員給与について

報告事項 「JAバンク基本方針」の変更について

■ 平成17年度第1回監事会

日時 平成17年4月12日午後1時30分
場所 本所二階会議室

議題

1. 管理者事務検証手続きについて
2. 平成16年度下期内部監査実施状況報告書について
3. 平成16年度導入家畜等欄卸監事監査回答書について
4. 平成16年度決算監査期中監査指示書報告について
5. その他

JA阿蘇南部地区集出荷体制の再編整備に伴う長陽集荷場の利用について

昭和61年度新農業構造改善事業により旧長陽村農協が取得した長陽村農業農産物集出荷施設につきまして、当該地区の野菜等の集出荷施設として利用して参りましたが、今回、南部地区的集出荷体制の再編整備に伴い生産資材等の配送センターとして位置付けし、組合員の皆様のために機能を更に発揮させていくことになりましたので、今後とも宜しくお願い申し上げます。

JA阿蘇職員異動のお知らせ

氏名	新 該 令	発令年月日	旧 該 令
荒井 哲郎	事務電算室長	平成17年4月15日	総務部総務次長兼経理電算課長
嶋田 恒一	南部営農センター園芸課園芸係 (野尻駐在)兼購買担当	平成17年4月15日	南部営農センター園芸課園芸係(野尻駐在)
佐藤 博	事務電算室事務電算課長	平成17年4月15日	購買部事務処理課長
宮崎 時男	白水中央支所金融共済課 南部地区LA係(南部地区ブロック長)	平成17年4月15日	金融共済部審査・債権対策課長
北 淑子	事務電算室事務電算課営農事務処理係	平成17年4月15日	小国郷営農センター農産課庶務係
瀬井 真美	事務電算室事務電算課営農事務処理係	平成17年4月15日	南部営農センター事業課精算係
平川ひとみ	事務電算室事務電算課営農事務処理係	平成17年4月15日	小国郷営農センター園芸課経理・精算係
北里 卓也	事務電算室事務電算課購買事務処理係	平成17年4月15日	購買部事務処理課事務処理係
清原 陽一	黒川支所黒川給油所係	平成17年4月15日	阿蘇町中央支所購買課購買係
中島佐代子	事務電算室事務電算課営農事務処理係	平成17年4月15日	中部営農センター事業課事業係
宇都宮久人	事務電算室事務電算課長代理(経理業務統括・企画開発管理・IT関係事業担当)	平成17年4月15日	総務部経理電算課経理電算係
高木 志保	白水中央支所金融共済課 南部地区LA係	平成17年4月15日	西原中央支所購買課購買係
藤吉ひかり	事務電算室事務電算課営農事務処理係	平成17年4月15日	南部営農センター農産課農産係
塚本かよみ	事務電算室事務電算課営農事務処理係	平成17年4月15日	中部営農センター事業課事業係
山口 優子	事務電算室事務電算課営農事務処理係	平成17年4月15日	中部営農センター事業課事業係
小島 多美	事務電算室事務電算課営農事務処理係	平成17年4月15日	中部営農センター事業課事業係
池田 博文	営農部農産課農産係	平成17年4月15日	営農部営農企画課営農企画兼青壯年部係
園田 賢臣	事務電算室事務電算課事務移行調整係	平成17年4月15日	総務部経理電算課経理電算係
酒井ゆかり	西原中央支所購買課購買係兼女性部係	平成17年4月15日	西原中央支所購買課購買係
下田美奈子	事務電算室事務電算課経理事務処理係	平成17年4月15日	総務部経理電算課経理電算係
高橋 直子	事務電算室事務電算課営農事務処理係	平成17年4月15日	中部営農センター事業課事業係
志内 純子	西原中央支所金融共済課金融共済係	平成17年4月15日	西原中央支所金融共済課係兼女性部係
中嶋 幸代	事務電算室事務電算課営農事務処理係	平成17年4月15日	中部営農センター事業課事業係
山本 孝子	一の宮中央支所金融共済課LA係	平成17年4月15日	一の宮中央支所金融共済課涉外係
嶋田 尚仁	営農部農企画課青壮年部係兼農産係	平成17年4月15日	営農部農産課農産係
宮本 竜也	事務電算室事務電算課事務電算係 (購買業務統括)	平成17年4月15日	購買部事務処理課事務処理係
原部真寿美	事務電算室事務電算課経理事務処理係	平成17年4月15日	総務部経理電算課経理電算係
山本 由美	事務電算室事務電算課営農事務処理係	平成17年4月15日	南部営農センター事業課精算係
橋本 潤一	小国郷営農センター事業課外商係	平成17年4月15日	小国郷中央支所購買課小国給油所係
武田 雄介	事務電算室事務電算課事務電算係 (営農業務統括)	平成17年4月15日	営農部営農企画課営農企画係
矢羽田浩史	小国郷中央支所購買課小国給油所係	平成17年4月15日	小国郷中央支所購買課資材店舗係
瀬井 真子	事務電算室事務電算課営農事務処理係	平成17年4月15日	野尻支所金融共済係
宮崎千恵子	事務電算室事務電算課購買事務処理係	平成17年4月15日	購買部事務処理課事務処理係
西村 瑞貴	事務電算室事務電算課経理事務処理係	平成17年4月15日	総務部経理電算課経理電算係
小橋みゆき	阿蘇町中央支所金融共済課LA係	平成17年4月15日	阿蘇町東部支所出納係

安心、確かな
JAバンク
夏のキャンペーン

ちょきんぎよ

なっとく

夏得

キャンペーン
2005

期間

6/13 [月] ▶ 8/31 [水]

ちょきんぎよ ^{発光} 防犯ブザー
プレゼント!! 10万円以上の
ご契約の方に

ピカッ!と
光るよ!



JAバンク熊本

お問い合わせ、ご相談は、お気軽に最寄りのJA窓口へ